

小麦新品種「アサカゼコムギ」について

野中舜二・田谷省三・荒木 均・吉田美夫

北原操一・鶴 政夫・牛腸英夫

(九州農業試験場)

登録番号

小麦農林123号(系統名:西海144号)

来歴

昭和42年4月,九州農業試験場において,西海115号(のちのヒョクコムギ)を母とし,西海120号(のちのシロガネコムギ)を父として人工交配を行い,昭和46年度に雑種第5代で派生系統とし,以後,選抜固定を図って来た。昭和50年度に「西海144号」と命名し,関係各県の奨励品種決定調査の供試材料として配布し,地域適応性を検討して来た。昭和53年度における世代は F_{12} である。

形態的特性

濃性はやや直立型で,葉色はやや淡い。農林61号に比べ約10cm短程で,強稈である。穂は白稈,紡錘型で,穂長はやや短く,やや密穂であるが,小穂着生段数はやや少ない。株はやや開くほうである。大粒で,千粒重が重い,1重はやや軽い。品質は,外観,製粉特性とも良好である。粉の品質は農林61号に類似するが,やや薄力的で,アミログラムがやや低くなる傾向がある。めん用

などに適する。

生態的特性

農林61号よりも出穂期で約7日,成熟期で5日程度早い極早生品種で,耐倒伏性がすぐれている。収量は栽培法,年次間を通じて安定多収を示し,各地の試作成績も良好である。耐病性は,縮萎縮病に強く,赤かび病には農林61号程度で強い方である。うどんこ病,赤さび病にはやや弱い。穂発芽性は難である。秋播性程度はIIで,春播型である。

適地及び奨励品種採用県

関東南部以西の平坦肥よく地帯に適し,昭和53年度に福岡県,宮崎県で奨励品種に採用された。当面両県で,4,700haの普及が見込まれている。早生,短強稈,良質,多収が主な採用理由である。

栽培上の注意

耐倒伏性が強いので多肥栽培にする。

命名の由来

早生の優れた品種で,草姿美しく,朝風のようにすがすがしいことを表わす。

第1表 アサカゼコムギの主要特性

試験地		九州農試 (標準栽培)			福岡県農試 (ドリル播栽培)		宮崎県総合農試 (ドリル播栽培)		
		アサカゼ コムギ	農林61号	ゴガツ コムギ	アサカゼ コムギ	農林61号	アサカゼ コムギ	農林60号	
生育 特性	出穂期(月・日)	4・12	4・18	4・12	4・15	4・22	3・30	4・6	
	成熟期(月・日)	5・29	6・3	5・28	6・4	6・9	5・17	5・21	
	穂長(cm)	73	84	72	74	86	82	93	
	穂長(cm)	9.3	9.8	9.0	8.7	9.0	8.3	8.8	
	m ² 当穂数(本)	303	294	275	459	499	607	557	
子 実 特 性	収 量 (kg/a)	標準栽培	36.2 (124)	29.3 (100)	25.6 (87)	—	—	—	—
		多肥栽培	42.0 (127)	33.2 (100)	31.6 (92)	—	—	—	—
	全 面 全 株 播 栽 培	ドリル播栽培	45.4 (138)	33.0 (100)	36.1 (100)	50.2 (105)	47.9 (100)	44.7 (114)	39.2 (100)
		全面全株播栽培	—	—	—	53.6 (107)	50.1 (100)	40.8 (107)	38.1 (100)
	1 重 (g)	756	765	778	754	764	762	730	
	千 粒 重 (g)	35.1	33.0	30.8	37.2	36.3	34.3	29.3	
外 観 品 質	中上~上下	中	中上	上下	中上	上下	中		

注)九州農試は,主に昭和48~52年度,福岡・宮崎県農試は50~52年度の成績(九州農試の多肥,ドリル播のゴガツコムギは50~52年度の成績)